



—第52号—
河野太郎事務所

ツイッター @konotarogomame
電子メール tarokono1963@gmail.com
ホームページ <http://www.taro.org/>
自民党神奈川県第15選挙区支部

平塚事務所
〒254-0811 平塚市八重咲町7-26
TEL 0463-20-2001 FAX 0463-21-7711

茅ヶ崎事務所
〒253-0045 茅ヶ崎市十間坂1-2-3-2F
TEL 0467-86-2001 FAX 0467-86-2002

議員会館
〒100-8982 千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1103号室
TEL 03-3508-7006

河野太郎の国会報告

努力をしていきま
す。

第二は、中国、

ロシアとの平和条約を結ぶために前
進していきたいと思えます。

第三が、中東への関与の強化です。

これまでの皆様のご支援のおかげ
をもって、国家公安委員長・行革担
当大臣・防災担当大臣・消費者問題
担当大臣等に続き、このたび外務大
臣を拝命いたしました。

外務大臣就任以来一ヶ月半の間に、
外相会談を59回、これに多国間会合
等も含めると合計104回もの会合をこ
なしてきました。海外出張も、マニ
ラでのASEAN関連外相会合、ワ
シントンでの日米外務・防衛大臣会
合(2+2)、モザンビークのマップ
トでのアフリカ開発会議(TICAD
D)閣僚級会合、ウラジオストクで
の東方経済フォーラム、中東訪問と
日アラブ政治対話(カイロ)、そし
てニューヨークでの国連総会と世界
を駆け巡ってきました。まさに「仕
事人内閣」の外務大臣として職務に
全力を投入してきました。

日本の外交が直面する課題のなか
で、私が特に取り組みたいもの、取
り組まなければならないものが六つ
あります。

第一は、もちろん北朝鮮の核とミ
サイルの問題の解決です。北朝鮮を
核保有国として認めて、共存を図る

韓国、ロシアといった近隣諸国との
関係の強化です。北方領土や歴史認
識、軍拡といった様々な問題があり
ますが、お互いの努力で良好な関係
を築き上げていく必要があります。
特に日本と中国は世界第二、第三
の経済大国です。日中両国が、二国

外相就任にあたって

ために交渉すべきという意見もあり
ますが、日、米、韓、中、露、すべ
ての国が朝鮮半島の非核化を目指し
ています。

強固な日米同盟を基盤として、韓
国や中国、ロシアとしっかり連携し、
北朝鮮の核とミサイルを放棄させる

間の問題に取り組むだけでなく、肩
を並べて気候変動のような地球規模
の問題の解決に取り組んでいくべき
です。

ロシアとは、北方四島での共同経
済活動といった新しいアプローチを
進めつつ、北方領土問題を解決し、

あるように、日本人の価値観はアラ
ブの価値観と似たところがあります。
日本と中東の関係は石油や天然ガ
スと自動車を中心とした貿易が中心
でした。しかし、パレスチナをはじめ
めアラブ諸国への日本からの支援は
地域で高く評価されています。その
結果、日本は、サウジアラビア、イ
ラン、そしてイスラエルをはじめ、
中東すべての国と極めて良好な関係
があります。
そして何よりも日本は、中東で大
きな役割をはたしてきたアメリカと

同盟関係にあり、率直に話し合いをできる関係にあります。

日本経済に直接的な影響を持ち、アルカイダやISILといったテロリストを生んだ中東に、経済だけでなく政治でも日本は関与していく必要があります。

私は外相就任以前からヨルダンのアブドゥラー二世国王、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン皇太子、パレスチナのアッバース大統領をはじめ、中東で人脈を築く努力をしてきました。中東で「河野外交」の特色を出していきたいと思っています。

第四は、軍縮・核不拡散への対応です。

私は初当選以来、軍縮議員連盟のメンバーとして、また不拡散核軍縮国際議員連盟の日本支部長として活動してきました。

唯一の被爆国、日本にとって核軍縮は重要な問題です。しかし、核兵器禁止条約は残念ながらいずれの核保有国も参加せず、また非核保有国の間も分裂させることになってしまいました。

核兵器禁止条約は核の脅威にさらされていないと考えられる中南米、

アフリカ、ASEAN諸国、太平洋の島嶼国などの支持を得ています。また、中東諸国は核兵器を保有していると考えられるイスラエルに圧力をかけるためにこの条約を支持しています。

他方、核の脅威にさらされている国々は、この条約に賛成していません。北朝鮮の核から日本や韓国を守るために、米国は核兵器を含むすべての軍事力を使う意思を明白にしています。米国と日本を含む米国の同盟国は、アジアであれば北朝鮮あるいは中国、欧州であればロシアが核兵器を放棄する前に核兵器を禁止することは、抑止力の問題が出ると考えています。

日本は、核保有国も参加する包括的核実験禁止条約や兵器用核分裂性物質生産禁止条約を早期に発効させると同時に、段階的に核保有国の核兵器を削減し、最終的に核廃絶を実現しようとする現実的なアプローチを取ろうとしています。

外相就任以来、私は、日米外相会談の中でテイラソン国務長官に米国のCTBT承認を働きかけ、また、

「核不拡散軍縮イニシアチブ」の会

合を主催するとともにCTBT発効促進会議の議長を務め、安保理の「不拡散」に関する公開討論でも発言してきました。

一朝一夕に解決する問題ではありませんが、核軍縮は外相としての私の大きなテーマです。

第五は、自由貿易の旗手としての立場の堅持です。自由貿易は世界経済を発展させ、拡大してきました。しかし、世界中で格差の拡大や失業、避難民の流入といったことが起こり、

TPPは単なる自由貿易協定ではなく、アジア太平洋地域における新たな経済ルールを創りあげ、中国などの国家企業を市場経済のルールに適合するものに変えていこうという試みです。その一步を踏み出す前に

米国が離脱してしまったのは極めて残念ですが、米国抜きでもTPPを早期に発効させると同時に、既に大枠合意に至っているEUとの経済連携協定も実現させます。そして、中小企業や農家にも海外の市場にアクセスする道を開いていきます。

第六は、「自由で開かれたインド太平洋戦略」の実現です。

高い経済成長を維持するアジアと

資源や潜在的な成長力を持つアフリカを結ぶインド洋から南シナ海、東シナ海、太平洋を経て北米に繋がるインド太平洋地域は、世界経済の成長の源です。

この海を、誰にとっても自由で開かれたものにするためには、米国、インド、オーストラリアとの連携が大切です。さらに、イギリスやフランスといった国々のこの地域への関与を深めていく努力をしていきます。

国連総会

外務大臣の会合には二国間(バイ)と多国間(マルチ)の二種類があります。多国間で最大の会合がトランプ米国大統領をはじめ世界から首脳級閣僚級が集まる国連総会のハイレベルウィークです。

九月一七日(日)

一〇…三五 ニューヨーク着

一四…四五 ヨルダン国王特使面会

ヨルダンの国王、皇太子、サウジ

アラビア外相をはじめとする中東

のジョージタウン大学の人脈を最大限に生かしています。

一七〇四〇 メディアインタビュー
 一九〇〇〇 日本人国連関係機関職員との意見交換 国連関係機関の中で戦略的に日本人の職員数と幹部を増やしていきます。

九月一八日(月)

〇七〇三〇 コーン米国経済会議
 長主催気候変動に関する朝食会@
 The Smith 前日にアメリカがパリ協定に戻るのではという観測が流れましたが、国連本部近くのレストランの個室に閣僚のみが集まり意見交換しました。

〇八〇四五 日米印外相会談

インド太平洋地域での日米印の三か国の連携を深めていくことを確認しました。

〇九〇五五 トランプ大統領主催国連改革に関するハイレベル会合
 事務総長が進める改革を支援するためにトランプ大統領が主催した会合です。

一〇〇五五 日豪外相会談 ビシヨップ外相とは二国間会談だけでなく、さまざまな会合で連携しています。

一一〇四〇 日バングラデシュ外相会談

ラカイン州の避難民の状況を視察し、ミャンマー政府と意見

交換するために堀井政務官を現地へ派遣しました。

一五〇〇〇 日口外相会談

北朝鮮問題に加え、北方四島の共同経済開発や墓参に關しても話し合いました。

一七〇四〇 日イスラエル首脳会談陪席

一八〇〇五 パレスチナ支援調整委員閣僚級会合

九月一九日(火)

〇九〇一五 日英外相会談@英国代表公邸

ボリス・ジョンソン大臣の著書『チャーチルフアクター』にサインしてもらいました。ざつくばらんな大臣で、コーヒーを飲みながら話し合いました。

一一〇〇〇 日イラン首脳会談陪席

一四〇四五 昼食@国連本部カフェテリア 鶏カツカレーハドルというメニューも。

一二〇三〇 日ヨルダン首脳会談陪席
 一三〇一五 「質の高いインフラ投資の推進に関するサイドイベント」
 @国連本部第一会議室

慶應ニューヨーク学院の高校生達が傍聴してくれました。

一四〇〇五 日カナダ外相会談

一六〇三五 日UAE外相会談

一七〇三〇 気候変動リーダー対話
 一八〇四五 EU主催レセプション
 一九〇〇〇 日EU外相会談@EU代表部

九月二〇日(水)

〇八〇五〇 日仏外相会談@仏代表部

〇九〇四〇 グローバルテロ対策フォーラム(GCTF)閣僚級会合
 一一〇〇〇 CTBT発効促進会議
 CTBT(包括的核実験禁止条約)はまだ発効していませんが、核実験による地震のデータを世界各地から集めるシステムは動き出しています。

一二〇〇五 PKOに関する安保理公開討論@国連本部安保理議場

私の安保理のデビュー戦になりました。

一四〇〇〇 安倍総理一般討論演説@議場

一六〇〇〇 G4外相会合
 日本、インド、ドイツ、ブラジルの四か国が安保理改革を進めるために集まったのがG4です。

一六〇三五 日ブラジル外相会談
 一八〇〇〇 「GUAM+日本」外相会合
 グアム島ではなく、ジョージア・ウクライナ・アゼルバイジャン・モルドバの四か国でつくるのがGUAMグループです。

一九〇一〇 日ブルキナファソ外相会談
 一九〇四〇 アフリカ諸国外相との夕食会
 アフリカの外相をお招きし、アフリカの平和と安定、北朝鮮問題や安保理改革等、アフリカと日本の間の大きなテーマを話し合いました。

一九〇二〇 日米韓首脳会談陪席
 北朝鮮問題を中心に議論が行われました。軽食付きという話でしたが、サラダにステーキでした！

九月二一日(木)

〇七〇一五 日CELCAC拡大トリカ会合

中南米カリブ諸国共同体の一昨年、昨年、今年の議長国(トロイカ)及びカリコム議長国との会合です。

〇八〇四五 日独外相会談@ドイツ代表部

〇九〇〇〇 NPDI外相会合
 NPDIとは「核軍縮・不拡散イニシアチブ」です。今回は、日本とドイツが呼びかけました。

一〇〇一五 NPDI外相会合記者会見
 共同議長の私が代表で記者会見しました。

一九〇二〇 日米韓首脳会談陪席
 北朝鮮問題を中心に議論が行われました。軽食付きという話でしたが、サラダにステーキでした！

一三・三〇 日米首脳会談陪席

日米韓に続いて日米首脳会談が行われました。米側からはトランプ大統領、ペンス副大統領、ティラーソン国務長官、ムニョーチン財務長官、ヘイリー国連大使、ポツティンジャーNSCアジア上級部長らが参加しました。日本側は総理と私、西村官房副長官、谷内安全保障局長、秋葉外審、森北米局長他。

一五・四五 日中外相会談

日中、中日の通訳が入りますが、王毅外相は日本語が得意です。

時々、王毅大臣が中国側の通訳の日本語を直しています！

一六・三〇 「不拡散」に関する安保

理公開会合@国連本部安保理議場
公開討論会台なので安保理メンバー国に加えて韓国も参加しました。

一八・三〇 講演会@「ロシア大学

二二・〇〇 米日財団フェローとの

懇談会

九月二二日(金)

〇八・三五 イエメン人道状況に関

するハイレベル会合

〇九・〇〇 ブルキナファソ外相と

懇談 今回、ブルキナファソには大変お世話になりました。

〇九・一五 日イラン外相会談

核合意や中東問題に関する意見交換です。

一〇・三〇 日韓外相会談

韓国のカン外交部長官とは、マニラ、ウラジオストツクに続き三回目の会談です。北朝鮮や二国間の問題を協議しました。

一三・一〇 ニューヨーク発

内閣の連帯責任

日本やイギリスのような議院内閣制には「内閣の連帯責任」という大原則があります。内閣の一員は、内閣の政策すべてに連帯して責任を負うということです。

つまり例えば防衛大臣や環境大臣も財務大臣と同じように政府の税制に責任を持たなければなりません。自分は防衛大臣だから、税制に関しては何を言ってもよいということにはなりません。例えば防衛大臣が消費税の引き上げに反対であっても、内閣の一員である以上、消費税の引き上げに賛成しなければなりません。もし、消費税引き上げに対する反対を公に明言するならば、閣僚を辞任

することになります。

政府の政策が決定されるまで、閣僚は政府内で自由に議論することができます。政府内での議論は自由です。しかし、ひとたび政府の方針が決定されれば、すべての閣僚はそれを支持しなくてはなりません。

閣僚になることは不自由なことです。しかし、閣僚は、与党議員でさえも持てない、自分の担当分野の政府の政策を決定し、実行する大きな権限を持つことになります。

発言する自由を取るか、発言は制約されても政策を実現する力を取るかという選択です。

私は、前回入閣したことにより、例えば原発の再稼働の可否について発言する自由を失いました。

しかし、防災担当大臣として、横須賀市長がそれまでの数年間にわたって要求したにもかかわらず実現されなかった商業用原子炉の二〇倍の水準にあった米軍の原子力艦船の原子炉の緊急事態判断基準を商業用原子炉と同じ水準まで引き下げることができました。

行革担当大臣として、ナトリウム漏れの事故の後、全く稼働できなかつ

たにもかかわらず毎年約二〇〇億円

もの維持費を費やしていた高速増殖炉の原型炉「もんじゅ」の新規制基準への対応予算にダメ出しをして結果的に「もんじゅ」を廃炉にしたり、稼働の見込みがない「もんじゅ」から出る使用済み核燃料を再処理する目的のために数百億円かけて建設され、多額の維持費をかけていたRETFの改造予算を廃止したり、造船後わずか数回しか使われなかつたにもかかわらず毎年十数億円の維持費をかけていた核廃棄物の運搬船「開栄丸」の使用を終了させたり、その他、それまでまったく精査されてこなかった原子力予算にメスを入れることができました。

さまざまな問題に関して積極的に発言し、世論を形成していくのも政治家の大きな仕事です。しかし、政府の方針を決め、実行するのも閣僚でなければできない大きな仕事です。皆様のご支援のおかげでこのたび外務大臣に就任することになりました。北朝鮮問題をはじめ日本をめぐる安全保障情勢が極めて厳しい時期ですが、日本の外交のかじ取りをしつかりとやってまいりたいと思います。